

# TDK (6762)

連結	売上高	営業利益	税前利益	当期利益	1株益	1株配	株価情報 (2/5時点)	
22.3	19,021 億円	1,668 億円	1,725 億円	1,313 億円	346.4円	78.3円	株価:	7,676 円
23.3	21,808 (+15%)	1,688 (+1%)	1,672 (▲3%)	1,142 (▲13%)	301.2円	106.0円	時価総額:	29,121 億円
24.3 予	20,770 (▲5%)	1,690 (+0%)	1,640 (▲2%)	1,137 (▲0%)	299.7円	116.0円	PER(24.3予):	25.6倍
25.3 予	21,930 (+6%)	2,210 (+31%)	2,310 (+41%)	1,600 (+41%)	421.8円	116.0円	PER(25.3予):	18.2倍
							配当利回り(24.3予):	1.5%

大和証券予想 (23/12/4時点)、実績は決算短信。IFRSベース。当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益を示す。21年10月1日を効力発生日として1:3の株式分割を実施。一株当たり数値は遡及修正済み。

## 3Qは3%営業増益とポジティブサプライズ。中国スマホ向け二次電池が好調

### 二次電池、受動部品、センサと収益源を多様化

スマホ向け小型二次電池（エネルギー応用製品）が主力。その他の事業を強化中であり、EV化、先進運転支援システム化を背景に、車載向け受動部品（コンデンサ等）が大きく成長した。加えて課題だったセンサ事業も黒字化し、収益源の多様化が進展している。市場別売上高構成比はICT（スマホなど）：55%、自動車：19%、産業機器：20%、他：5%（23/3期）。環境関連銘柄としても注目したい。

### 営業利益計画は2桁減益から過去最高益更新へ

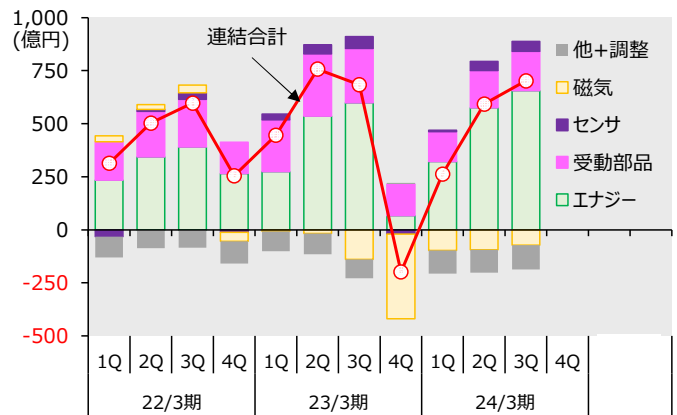
24/3期3Q（10-12月期）の営業利益は為替の好影響もあり、702億円（前年同期比3%増）と市場予想585億円を大幅に上回った。二次電池は、中国スマホ向けに販売が増加したことに加え、合理化効果により収益性も向上した。磁気応用製品（HDD向けヘッド・サスペンション等）は赤字幅が縮小。一方で、受動部品はICT市場や産業機器市場向けの販売が減少した。

通期営業利益計画は、1,700億円（前期比1%増）と従来の1,500億円（同11%減）から一転し、一過性要因を除き過去最高益だった前年を上回るとした。中国スマホやHDD向け販売が想定以上だった模様。4Qの対ドルの前提為替を130円→145円へ変更した効果もあるが、実力値で約100億円の上振れ。また4Qに約120億円の構造改革費用を計上する計画。

### 車載向け電子部品、中型二次電池の成長に期待

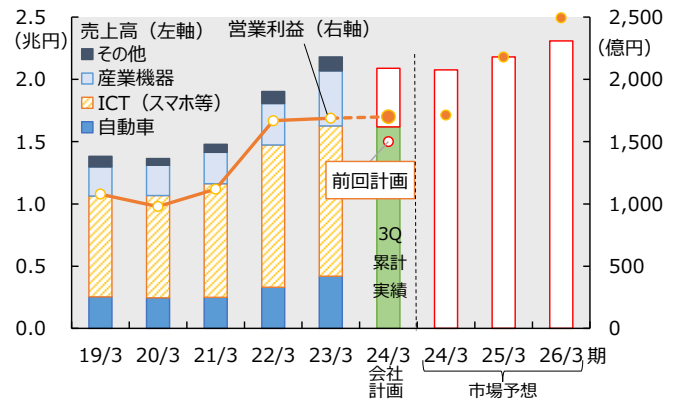
構造改革効果が現れる来期以降の成長に目を向きたい。車載向けが多い積層セラミックチップコンデンサ（MLCC）は成長基調にある中、増産体制を整える。HDD用ヘッド及びサスペンションの黒字化は来期を目指しており、来期後半に本格回復を見込む。さらに、中型二次電池の車載電池最大手CATLとの合併企業への移管は順調に進捗している模様だ。蓄電システム、電動二輪向け中型二次電池市場は、2025年には小型電池市場の約4倍に拡大すると推定される。27/3期に売上高1,000億円台、30年に4~5,000億円を計画。新たな収益源として期待したい。（金丸）

### ① セグメント別営業利益



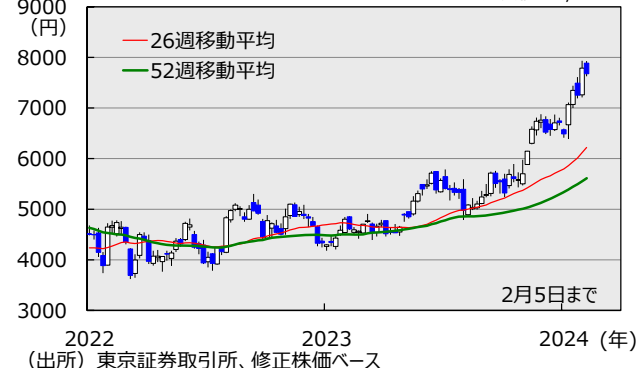
(出所) 会社資料より大和証券作成。(注) 予想は会社。24/3期1Qの区分変更は、23/3期にできる限り遡及修正した。

### ② 市場別売上高と営業利益



(出所) 会社資料より大和証券作成。(注) 市場予想は2/5時点のクイックコンセンサス。20/3期まではSEC、それ以降はIFRSベース。

### 株価推移 (週足)



本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する決定は、銘柄選定を含め最終的にはご自身の判断でなさいようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行なう場合、約定代金に対して最大1.26500%（但し、最低2,750円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大0.99000%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほか、為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行なうにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行なうことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された各種手数料等（最大3.3%（税込）の購入時手数料、換金時には、1口（当初1口=1,000円）につき最大22円（税込）の解約手数料や最大0.5%の信託財産留保額、間接的にかかる費用として、運用管理費用（国内投資信託の場合には信託報酬として最大年率2.420%（税込）、外国投資信託の場合には管理報酬等として最大年率3.755%程度）、その他運用実績に応じた成功報酬やその他の費用・手数料等（運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません）をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。各商品の目論見書等のご請求は、大和証券のお取引窓口までお願いいたします。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 / 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号  
 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

### 【保有株式等について】

大和証券は、このレポートに記載された会社が発行する株券等を保有し、売買し、または今後売買することがあります。大和証券グループが、株式等を合計5%超保有しているとして大量保有報告を行なっている会社は以下の通りです。（2024年1月15日現在）

メンバーズ(2130) サンケイリアルエステート投資法人(2972) SOSILAW物流リート投資法人(2979) 日本アコモデーションファンド投資法人(3226) 森ヒルズリート投資法人(3234) サムティ(3244) 産業ファンド投資法人(3249) アドバンス・レジデンス投資法人(3269) ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人(3278) アクティブ・プロパティーズ投資法人(3279) GLP投資法人(3281) コンフォリア・レジデンシャル投資法人(3282) 日本プロロジスリート投資法人(3283) 星野リゾート・リート投資法人(3287) Oneリート投資法人(3290) イオンリート投資法人(3292) ヒューリックリート投資法人(3295) 日本リート投資法人(3296) 積水ハウス・リート投資法人(3309) ケネディクス商業リート投資法人(3453) ヘルスケア&メディカル投資法人(3455) サムティ・レジデンシャル投資法人(3459) 野村不動産マスターファンド投資法人(3462) ラサールロジポート投資法人(3466) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) 三菱地所物流リート投資法人(3481) CREロジスティクスファンド投資法人(3487) ゼイマックス・リート投資法人(3488) カヤック(3904) レナサイエンス(4889) ティムス(4891) ケイファーマ(4896) 藤商事(6257) マースグループホールディングス(6419) TDK(6762) アドバンテスト(6857) トミタ電機(6898) 太陽誘電(6976) 日本ホスピスホールディングス(7061) アストマックス(7162) ポピンズ(7358) クレディセゾン(8253) マナーパートナーズグループ(8732) 日本ビルファンド投資法人(8951) ジャパンリアルエステイト投資法人(8952) 日本都市ファンド投資法人(8953) オリックス不動産投資法人(8954) 日本プライムリアルティ投資法人(8955) N T T都市開発リート投資法人(8956) グローバル・ワン不動産投資法人(8958) ユナイテッド・アーバン投資法人(8960) インヴィンシブル投資法人(8963) フロンティア不動産投資法人(8964) 日本ロジスティクスファンド投資法人(8967) ケネディクス・オフィス投資法人(8972) 大和証券オフィス投資法人(8976) 阪急阪神リート投資法人(8977) 大和ハウスリート投資法人(8984) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) 大和証券リビング投資法人(8986) ジャパンエクセレント投資法人(8987) Green Earth Institute(9212) キャスター(9331) 帝国ホテル(9708) ファーストリテイリング(9983) (銘柄コード順)

### 【主幹事を担当した会社について】

大和証券は、2023年2月以降下記の銘柄に関する募集・売出し（普通社債を除く）にあたり主幹事会社を担当しています。

ライフドリンク カンパニー(2585) 東海道リート投資法人(2989) 産業ファンド投資法人(3249) コンフォリア・レジデンシャル投資法人(3282) 日本プロロジスリート投資法人(3283) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) ユーザーローカル(3984) コアコンセプト・テクノロジ(4371) 楽天グループ(4755) セルソース(4880) モンスターラボホールディングス(5255) リアルゲイト(5532) ジェノバ(5570) エキサイトホールディングス(5571) Globee(5575) ファーストアカウンティング(5588) ネットスターズ(5590) AVILEN(5591) ブルーイノベーション(5597) ヒューマンテクノロジーズ(5621) 楽天銀行(5838) インテグラル(5842) SOLIZE(5871) クラダシ(5884) Japan Eyewear Holdings(5889) 魁力屋(5891) yutori(5892) デンソー(6902) ハルメクホールディングス(7119) SHINKO(7120) 住信SBIネット銀行(7163) ジャパンインベストメントアドバイザー(7172) ゆうちょ銀行(7182) レオス・キャピタルワークス(7330) FPパートナー(7388) トモニホールディングス(8600) 平和不動産リート投資法人(8966) 大和ハウスリート投資法人(8984) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) 大和証券リビング投資法人(8986) ナレルグループ(9163) フルハシEPO(9221) AB&Company(9251) キャスター(9331) ソフトバンク(9434) M&A総研ホールディングス(9552) (銘柄コード順)

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する決定は、銘柄選定を含め最終的にはご自身の判断でなさいようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。